



次の記述のうち，介護福祉職がアドボカシー（advocacy）の視点から行う対応として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護を行う前には，利用者に十分な説明をして同意を得る。
- 2 利用者の介護計画を作成するときに，他職種に専門的な助言を求める。
- 3 利用者個人の趣味を生かして，レクリエーション活動を行う。
- 4 希望を言い出しにくい利用者の意思をくみ取り，その実現に向けて働きかける。
- 5 視覚障害者が必要とする情報を，利用しやすいようにする。

1	人間の尊厳と自立	4
---	----------	---

- 1 ×  
アドボカシーの視点ではないため、不適切です。
- 2 ×  
アドボカシーの視点ではないため、不適切です。
- 3 ×  
アドボカシーの視点ではないため、不適切です。
- 4 ○  
アドボカシー（advocacy）とは、利用者の思いなどについて、利用者に代わって「代弁する」ことです。「代弁する」ことで利用者の権利を守ります。  
介護福祉職が利用者の言い出しにくいことを、くみ取り、働きかけることは「代弁する」といえ、適切です。
- 5 ×  
アドボカシーの視点ではないため、不適切です。



Aさん（83歳，女性，要介護3）は，脳梗塞（cerebral infarction）の後遺症で左片麻痺があり，介護老人福祉施設で生活している。家族から，「できることは自分で行ってほしい」と希望があり，Aさんは自室から食堂まで車いすで自走することを日課としている。

1週間前から，介護福祉士養成施設の学生がAさんのフロアで実習を開始した。数日前からAさんは実習生に，「今日は腕が痛いので，食堂まで車いすを押してください」と依頼するようになった。悩んだ実習生は，実習指導者に相談をした。

実習生に対する実習指導者の最初の助言として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「Aさんの腕は痛くないので，気にしないでください」
- 2 「どのようなときも，Aさん自身で行ってもらう必要があります」
- 3 「ご家族から自分で行うように，言われています」
- 4 「それは自立につながらないので，車いすを押さないでください」
- 5 「Aさんが依頼する理由を，まず考えてみるのが大切です」

2	人間の尊厳と自立
---	----------

5

1 ×

Aさんの思いを尊重していないので不適切です。

2 ×

Aさんの思いを尊重していないので不適切です。

3 ×

Aさんの思いを尊重していないので不適切です。

4 ×

Aさんの思いを尊重していないので不適切です。

5 ○

利用者の自立支援は大切ですが、いつもできていることが今日はできないこともあります。大切なのは、なぜそのようなことを言われたのか、理由を確認することですので、適切です。